



高知県オフセット・クレジット認証運営委員会
(事務局:高知県オフセット・クレジット認証センター)御中

平成 23年 1月 24日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名	
高知県津野町 龍馬の森間伐推進プロジェクト	
GHG 検証機関	
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。	
機関名	財団法人 日本品質保証機構
担当部署名	地球環境事業部
責任者名	松野 勉
責任者 E-mail	matsuno-tsutomu@jqa.jp
責任者電話番号	03-6212-9333
審査員名	浅川 健一:チームリーダー、審査チームの統括、審査結果の取りまとめ 前岡 理照:チームメンバー、現地審査の実施、リーダーの補佐 外部専門家:なし レビュー担当者:前垣内 正記(判定会委員長)
機関要件への合致	合致
検証報告書発行日	2011年1月24日
検証結果	
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 1.2
検証期間	2010年11月11日~2011年1月24日
現地審査	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
期間	2010年11月26日
審査内容	デスクレビュー(フェーズ1検証)の結果に基づき、プロジェクト事業者等に対するインタビュー、記録及び現地確認(フェーズ2検証)を行った。検証ポイントは以下の通りである。 <GHG データ及び情報> ・ プロジェクトの活動境界の設定が適切か ・ プロジェクト活動に関係するすべての吸収・排出活動が特定されているか ・ パラメータの引用は適切か



		審査内容		<ul style="list-style-type: none"> 活動量データ並びに算定に必要なデータはどのように収集されているか データの集計は正確か 吸収増大量の算定は正確に行われているか <p><QA・QC体制></p> <ul style="list-style-type: none"> モニタリング体制及び算定体制は適切か モニタリング担当者の力量は十分か データチェックはどのように行われているか 計測機器の管理はどのように行われているか 		
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO ₂	0	0	28	—	—
(但し、2010年度は2010年6月1日～2010年10月31日の期間)						
検証結果の要約		<p>財団法人 日本品質保証機構(JQA)は、高知県津野町における森林施業計画区域内の森林を対象として、新規プロジェクト対象地の二酸化炭素吸収増大量を検証した。</p> <p>検証の結果、「高知県津野町 龍馬の森間伐推進プロジェクト モニタリング報告書 Ver. 1. 2」に記載されたモニタリング期間の内、2010年6月1日～2010年10月31日の期間における二酸化炭素吸収増大量28 t-CO₂は、「高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER) 制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクト申請書 Ver. 1. 3」及び申請書別紙のモニタリングプラン(Ver. 1. 3)に基づいて算定されており、不確かさ及び誤りの合計値が0 t-CO₂(二酸化炭素吸収増大量に対する割合:0%)となり、重要性の判断基準の5%未満であることから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。